

414
A 3964



天
保
十
一
年
四
月

内外貿易上ニ於テ其損害ノ僅少ナラサルヲ憂ハ
之ヲ救濟セント要シ一二ノ鄙見ヲ申白仕置候右ハ固
ヨリ御熟知ノ事件ニテ定メテ御思慮モ有之遠カラス
内國ニ於テ紡織ノ事業官府ノ力ヲ以テ御着手相成候
様仄カニ傳承仕候就テハ右器械購求ノ儀ニ付是亦御
高案可有之ト奉存候然ルニ其ノ愚衷ニ器械購求ノ手
段ニ至テハ甚タ困難ニシテ容易ノ事ニ無之哉ニ相考
候何トナレハ方今我カ各港ハ輸入スル所ノ木綿絲及
ヒ木綿織物ノ價額ハ其原價ニ付大凡七百三拾八九万
圓許ニシテ之ヲ内地ノ人民ニ賣却スルニ至テハ尚ホ
幾多ノ巨額ト可相成假リニ其原價ニ壹割ヲ加乘スル
モ八百萬圓餘ニ至レリ依テ眼ヲ他ノ一方ニ轉シ竊カ



三 相考候ハハ該巨額ノ物品ヲ我カ内地ニ輸入シ其生
計ヲ管理スル英國人主トシテハ幾多ナルヤ遠カニ算定
スハカラス今ヤ内地ニ於テ之ヲ製造シ復タ外國ノ輸
入ヲ仰カサルニ至テハ其反動ノ至ル所ハ支那各港及
ヒ我カ各港ニ在ル英商及ヒ右物品ヲ運送スル船主船
人并ニ其本國製造人其他英商ノ米國ニ在テ綿花ノ買
入ヲ以テ職業トスルノ部分マテ波及スハキハ必然ノ
勢ニ有之然ルニ右製造器械ハ之ヲ購求スルノ際恐ラ
クハ英國人ノ手ヲ經ケルヘカラス今我カ政府ヨリ其
手ヲ經テ該國製作場ニ御注文相成候ハ、彼ノ製造人
ヲ首トシ其他ノ所謂反動ヲ受ヘキ者何リ沈黙傍觀ス
ハキヤ必ス詭計點謀ヲ施シ各自ノ利益ヲ謀ルハ是亦
必然ノ勢ニ有之前鑑ハ舊鹿兒島藩器械購求ノ成果ニ

於テ知ルヘシ且某傳聞仕候處ニ於レハ當今英國女王
ハ佛國獨逸澳國等逐次諸製造ノ振起セルヲ見テ其國
中ニ令徇シテ曰ク今ヨリ全國一層ノ智力ヲ奮精シ各
職業ヲ勉勵セサレハ從來英國ニ於テ呂有スル所ノ富
實及ヒ利益ハ必ス他ノ各國ニ奪了セラレハシト是ニ
由テ之ヲ相考候ハハ精製善美ノ器械ヲ購求スルハ實
ニ難事ニシテ直下着手ノ順序ニ至リ難候哉ト奉存候
於是乎某竊カニ愚案仕候ニハ弥以テ右器械購求ノ儀
御決定相成候上ハ今般米國博覽會場各國器械陳列所
ニ於テ検査官ノ公評ニ依リ確定セル紡織器械第一等
ノ賞牌ヲ領持セル社主ニ就キ右器械ノ雖形ヲ買入形雖
ヲ買收セサレハ後日器械然ル後一日大凡一千反許均三十
括付ノ際混亂ヲ生スヘシハ碼ヲ製出スハキ器械ヲ注文スルヲ要ス但シ運費及

七代價ノ一部ヲ減センカ為メ蒸汽罐大羽車等ハ内地
ニ於テ製作スルモ可ナルハシ此等ノ事務取扱及ヒ名
目ニ至テハ日本商民ヲ以テシ其條約并ニ指揮ハ官府
ヨリ為ス寸ハ事實ニ於テ甚タ便宜ナルヘシ其儀ハ第
一等ノ賞牌ヲ得ルマ否ヤ直チニ此雛形ヲ買収セント
要セハ該會社ノ面目榮譽ナルニ付必ス喜ンテ其需求
ニ従フヘキ儀ト奉存候且一商民ノ求需ヲ以テスルハ
ハ彼ノ織物製造會社モ已レ等ノ損害ニ付尤迄念慮ナ
ク例ノ詭計ヲ以テ障碍ヲ為スノ地ニ至ラサルハキ儀
ニ奉存候何トナレハ政府ノ名ヲ以テスルト商民ノ目
ヲ以テスルト其間自カラ關係ノ差違之レ有レハナリ
右等ノ情實有之ニ付商民ヲ使用セサルヲ得ス又之ヲ
使用スルモ官府ヨリ指揮ヲナサ、ルヲ得サル儀ト愚

考仕候不_レ去右事務成果ノ巧拙ハ責任者ノ能力ニ在テ
豫シメ確言仕リカタキ儀ニ候ハ共意存ノ儘其概畧ヲ
筆記シテ更ニ稟白仕候也

九年一月廿四日

石橋重朝

